



元壁玉

に仕立て上げる?

?

先輩が俺の彼女を

本文41P

これこそ女として

もっとか入れて!



優、さっきのシュート
完璧だったな!

来週の試合
お前に任せただぞ!

なに言ってるのさ
お前のアシストのおかげだろ

俺は鈴木 優
サッカー部のフォワードだ

来週の
大切な試合に向けて
毎日練習している

おい!

集中して練習しろよ

そうじゃないとキャプテンに
叱られるぞ

彼女は福山 亜矢
サッカー部のマネージャーだ

ルックスはもちろん
性格もやさしい

みんなのアイドル的存在な彼女だが

彼女は俺の幼なじみの恋人である

考えてみると

こんな完璧な
彼女がいるなんて

みんなきつと俺のことが
羨ましいに決まっている

一本どうぞ

ゴクゴクゴク

えっ、優また俺達に
飲み物くれるのかよ

おい！

全員腕立て100回！

はーはー

はーはー

油断したときにサボリやがって

もうすぐ大切な
試合だっていうのに

こんなダラダラ
しやがって！

お前ら

何やってるんだ？

彼は鈴木剛
俺たちの先輩であり
サッカー部のキャプテンだ
とにかくイチイチ厳しい！

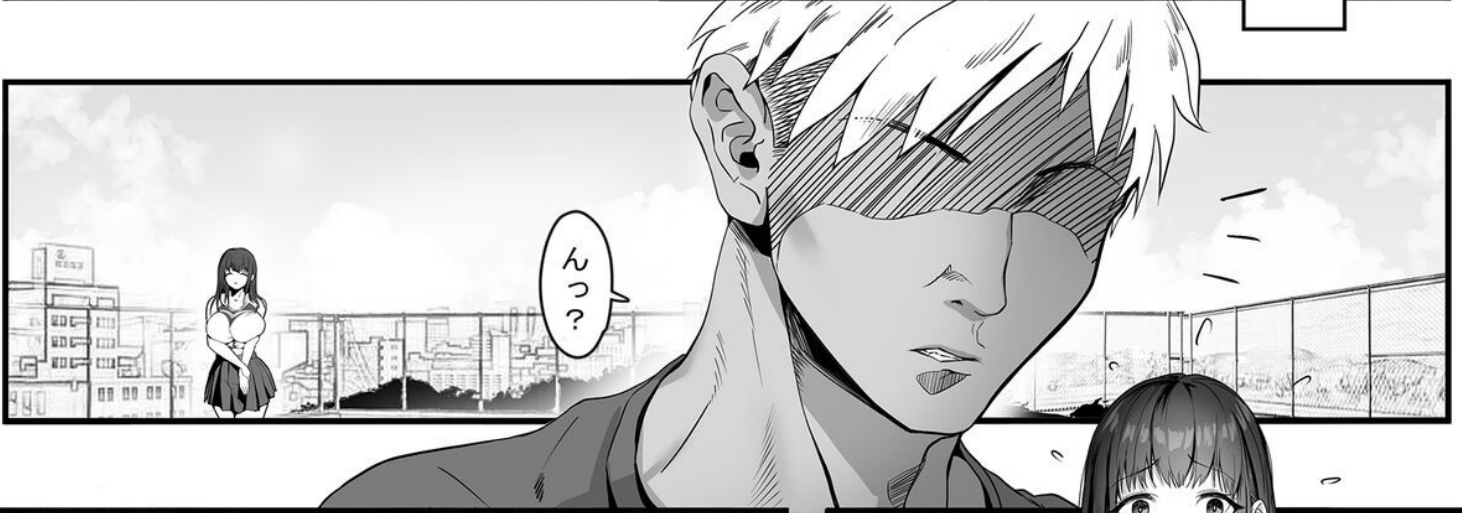
キヤプテン！

彼の能力は確かに秀でているが

それゆえ我も強い

しかも彼に関する
奇妙なうわさも
出回っている

だからみんな彼を
かなり恐れている



んっ？

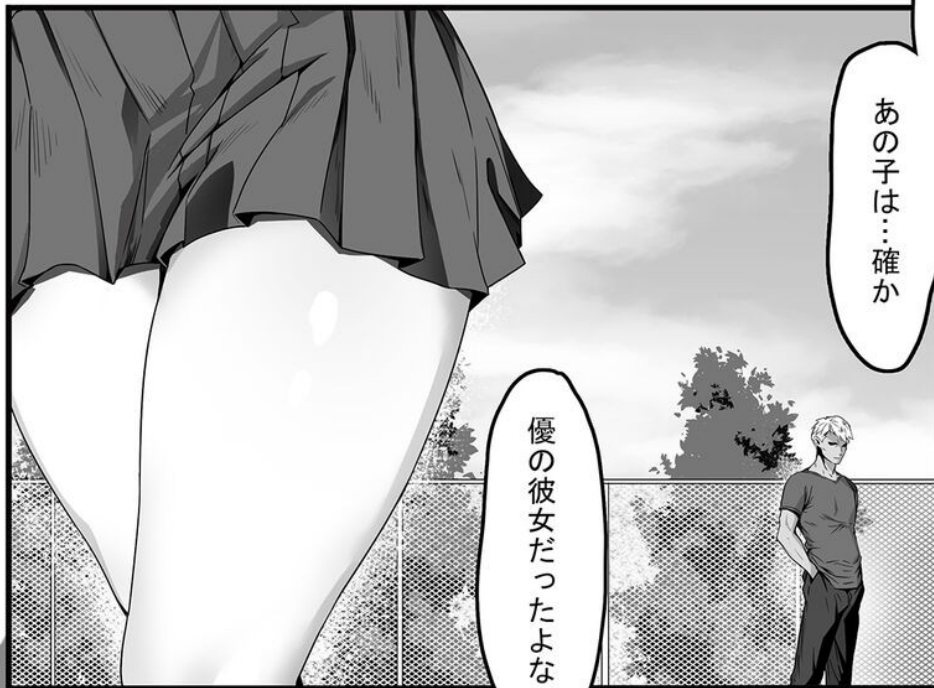


あっ！

すみません！

あの子は……？

……



優の彼女だったよな

あの子は…確か

おお



やっぱり
美人だな



うっ……

うっ

うっ……



チュッ…

チュッ…

うん……



どおりでみんな
心奪われるわけだ

おっといけねえ…



ごめん

亜矢がくれた香水使ってみたけど

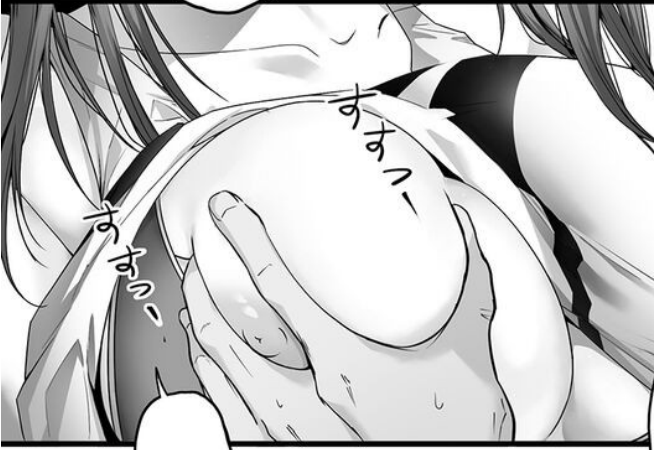
それでも汗臭いよな？

大丈夫

今日の練習
疲れたでしょ？

本当に
大切な試合なんだ

だから亜矢から
もっと元気を
もらわないと



本当に……？

本当に幸せ

優のために
私力が力になれるなんて

俺ももっとやってくれる？



うっ……あっ……

優のためなら



いくらでも
つきあうよ



……

優のやつまた
彼女とイチチャイヤしてやがる

優今どんな感じ？

すごい
俺、体力回復した上に

活力までみなぎってきた

でも……
俺達の間には

誰にも言えない隠し事がある

あら、優君やっぱり
メツチャ興奮してるのね……

まだダメだよ

もっと気持ちよく
させちゃうからね……

キーン

うっ……

うっっ

きっ
気持ちいい

もうダメだよ

練習に影響がでちゃう



こ、こんな感じでいいの？

あっ……

亜矢……
俺やっぱり……

亜矢にも
気持ちよくなって欲しい！

優君とても疲れてる
でしょ？

私の為にこんなに
頑張ってくれるなんて……

ハロ……
チュル♡

あっ……

優君……



亜矢！



でも……

優君の手さばき
本当にすごい……

私もう
我慢できない



あっ……あっ……



ハロ……
チュル♡

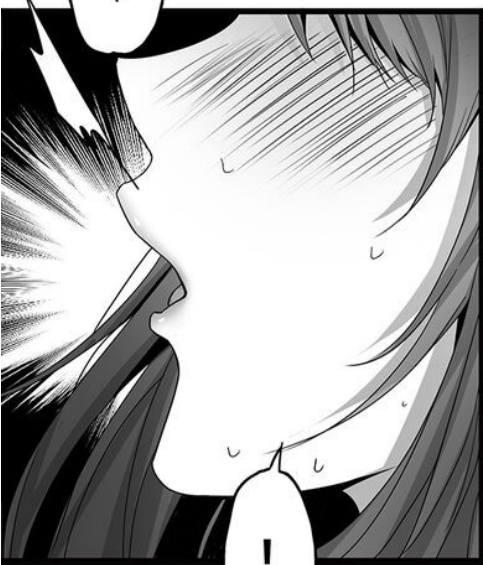


あっ!!

あっ!!



おれ…めっちゃ



!



あ、亜矢……

亜矢は本当に……

最高の彼女だよ!



ゆ、優君……

急にこれ……

どうしたの?



「……

ごめん……

これが俺達の間の
誰にもいえない秘密事だ

俺たちさ
長い間付き合ってきたけど

ずっと一線を
超えてこなかったもんな

俺たぶんまだ心の準備が
できていなかったみたい……

あ、亜矢……

でも……

俺本当に亜矢のことが好き

亜矢の気持ちを一番大切にしたいと思ってる

もしこれからもずっと亜矢と
セックスできないなんて

俺はすごく辛い

たぶん……
俺我慢できない……

じゃあ……

それならわかったわ……

!



あ…亜矢

ほ、本当に？



も、もちろん！

たとえ夢だろうと
亜矢とセックスしたいに決まってる！



うう…あぁっ……



優い
私と

セックスしたいの……？



あっ！
ゆ…優君

お、お願い
もう少し…
優しくやってくれる？

も、もちろん！
でも、
本当にいいの？

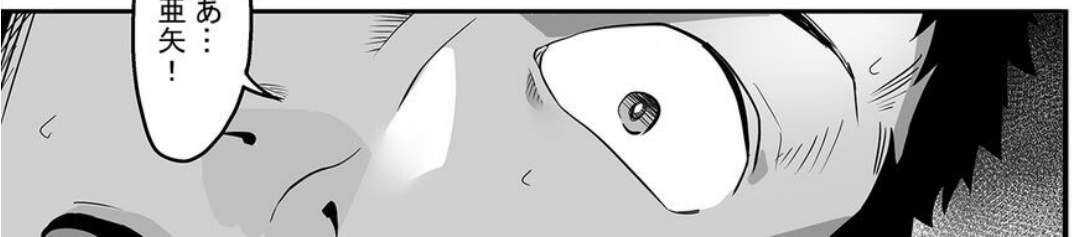


じゅじゅ…

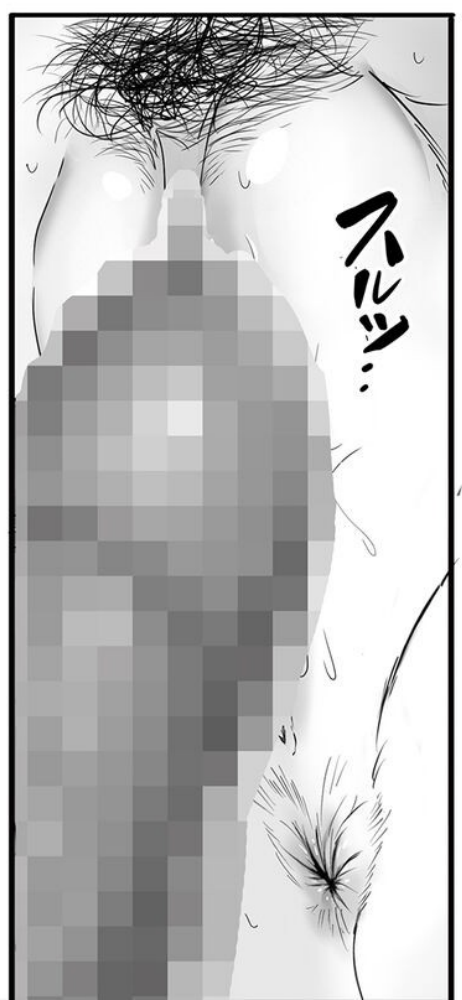


あっ！

ズッ
ッ…



あ…
亜矢！



ズッ…

亜矢!

ああー!!

ふー!!

ふー!!

ふー!!

ふー!!

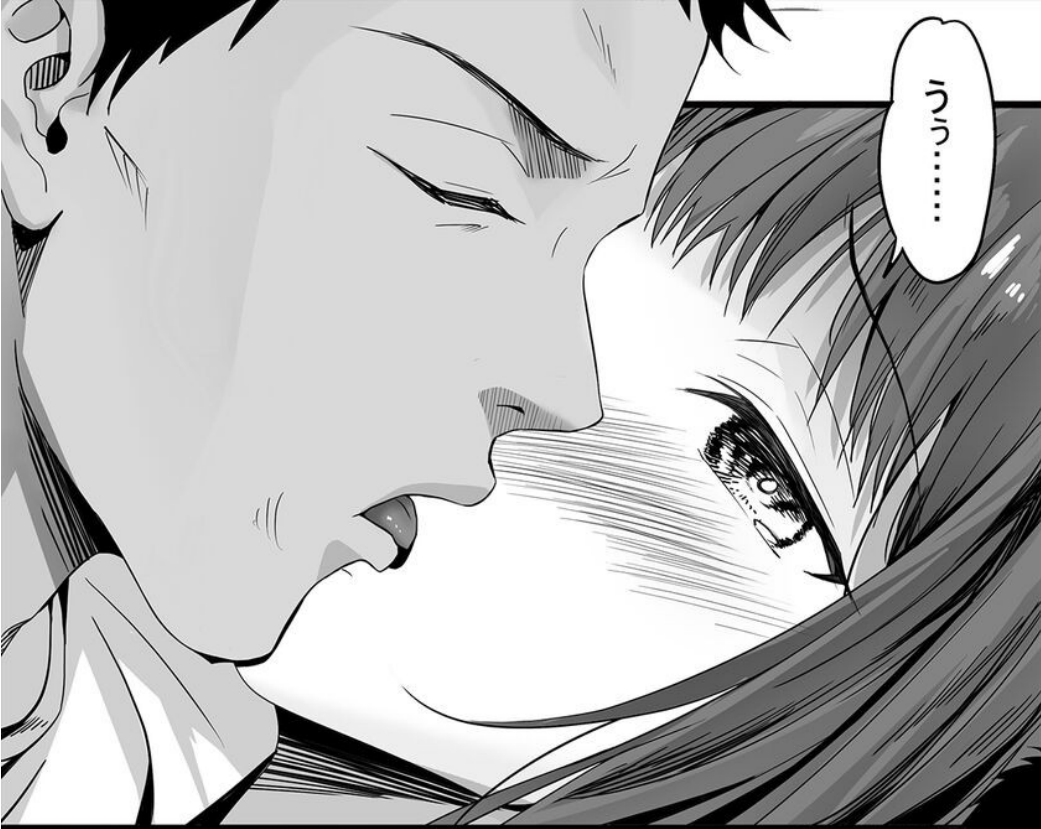
ふー!!

こ

これは……

?





うう……



ゆ、優君……？

ねえ……
どうしたの？



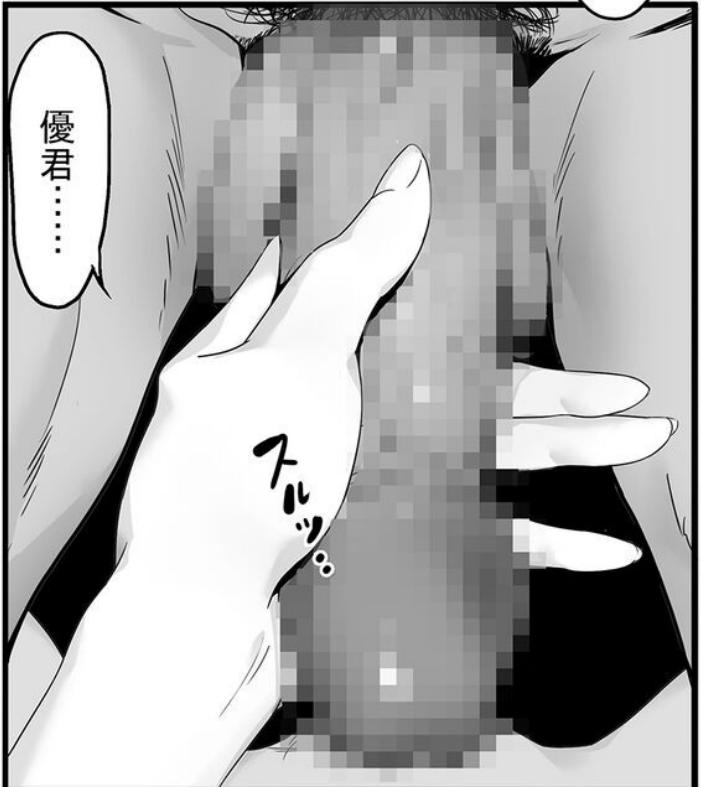
本当に
ごめん！



亜矢……
ごめん……

さっき俺
やりすぎちゃったかな
俺自分勝手に

亜矢まだ心の準備
できてなかったよな



優君……

ア……



優君がそう思ってくれてるなんて私本当に感動したわ

ありがとう!



身体がまだ興奮している

ああ……ごめん

頭ははっきりしているんだけど



スルッ...

うう……

でも私は優君のために

このまま終わるわけにはいかない



あっ、あっ……

柔らかい手……

私にしっかり優君の治療させてね

スルッ...

スルッ...

スルッ...



私のお父さんとお母さん
数日旅行に行ってるから

そうだ!



優君もし治療が必要なら
私の家に遊びに来てね



ゴクツ...

ゴクツ...



う...

これは...
優君のにおい

幸せを感じる
においだ...!



本当にバカだな…

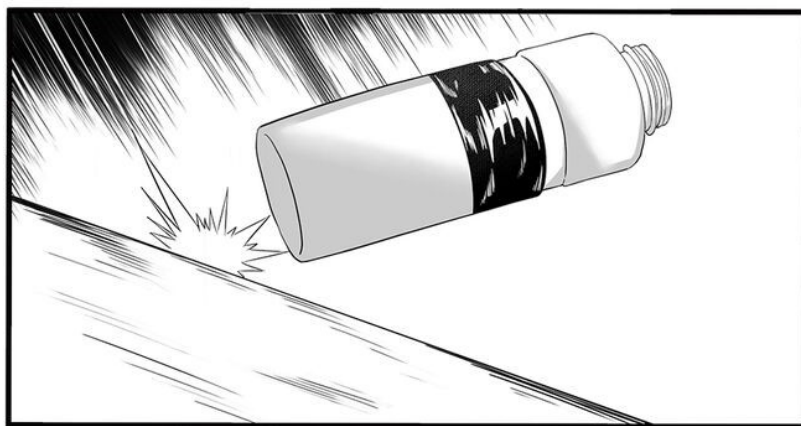
ふんっ……



真の男とは言えないな

まったく…ダメなやつだ

ズズズ…



「」までやって



女を満足させられないなんて



重要な場面は
あいつには任せられない



試合までは俺がお前の携帯を預かっておく

集中して練習するためにも

そっか

で、でも
なんでこんなことまで
しないとイケないんですか？



なっ…なに？

試合前に
携帯を没収だったって？



ふっ、よく理由なんて
聞けたな

昨日ロッカーでお前が
何をしたのか覚えてないのか？

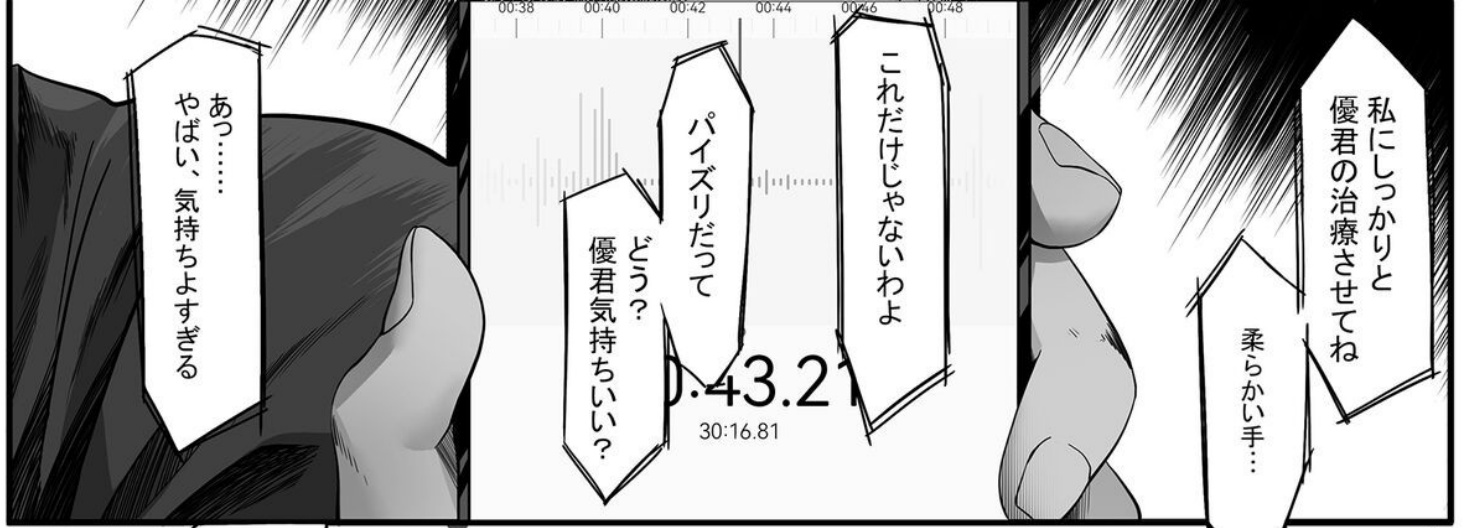


昨日？
ロッカー？？

そっ…それは
どういうことですか？

覚えてないのかお前？

それじゃあ俺がお前に
教えてやるよ



私にしつかりと
優君の治療させてね

柔らかい手…

これだけじゃないわよ

パイズリだって

どう?
優君気持ちいい?

あつ……
やばい、気持ちよすぎる



あつ、あつ……

自分で聞いてみる!

もし毎日お前がこんな
みだらなことをして……

試合に勝てるだけでも
思ってるのか?

試合が終わるまでは
俺が預かっておくから

わっ……
分かりました

これ
私の携帯です

それでいいんだ



安心しろ

俺が代わりに
大切に保管しておく
から……



優君
ああやって言ったけど

本当に
大丈夫なのかしら？

う…
やっぱり少し
心配ね



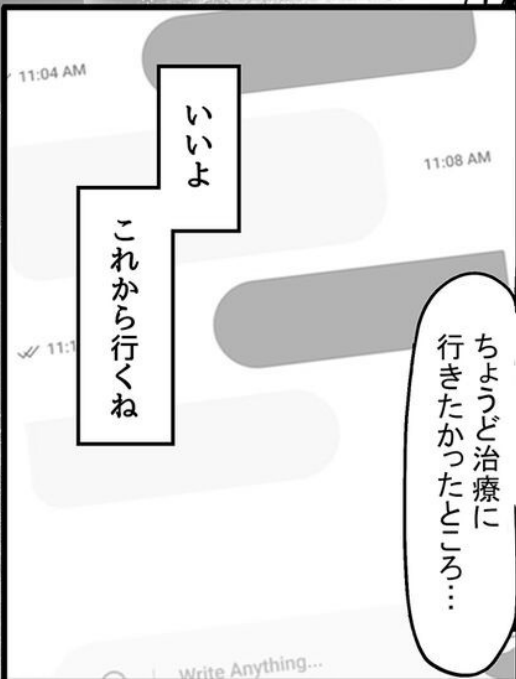
あっ

優君…



ごめん
あとでちょっと
来てもらってもいい？

どうやらまた
治療が必要みたいで



いいよ

これから行くね

ちょうど治療に
行きたかったところ…

でも、私もちょっとだけ
連絡待っていた

ははは…
まったく
こんなに早くに
連絡くるなんて



.....

私来たよ!

優君いるー?



?

優君まだ
来てないの?



うっ!



うっ!
うっ!



ううう……

あああ……

……は……

私のお部屋？

私……

寝ぼけてるのかしら？

頭……
少し痛い……

お部屋の中真っ暗

停電したのかな？



?!

キキキ



私そついえば…
優君に会いに行つて
その後頭がくらくらして…



あつ!
優君だ

私を家まで
送つてくれたのね?



!



ハイテン!



ふふふ...

ゆ...優君?



なにこれ...?

彼は本当に優君なの?

あっ?

あっ！

でも…

この香水の匂い
優君だよな？

やはり……

香水の効果は
あるようだな

優と同じ香水で
髪型も真似て

亜矢ちゃんひとまず俺を
優だと思い込め

優君なんか今日
いつもより荒っぽいような……

あっ！
もう少し優しく……

なんか気に食わないことが
あったのかしら？

だからこんなに
焦っているのかな

ち、ちから
強い！

あっ！

パッ！

でも、この感じ
たまらない……

身体が力に
よって……

ぐにやぐにや……

言うことを聞かない

シクッ！

シクッ！



やあー!!

ぴらっ

こ、こんな
状態……

恥ずかしすぎる!!

で、でも……

優君私に治療されたいんじゃ
なかったっけ?

こんな姿勢じゃ
私何もできないじゃん……

ふふふ……

あそこやはり
完璧な形





ゆ…優君？

うっ…

じゃあ、私を先に
起こしてから？

今日はもう早速
ここから治療するの？

あっ…
なにがあったの？

シクッ

私が治療を
するんじゃないの？

ああ…
どうして…
なっちゃったのよ？

気持ちいいけど

シューッ

ああ…

これじゃあ、わたし
なにもできないじゃん！

シクッ

シクッ



あ！

き、気をつけて

まっ、

待って！

ズッ…

もう少しでスルツと
挿入できてたのにな……

へへ……

痛い！
ちよっと痛い……

わっ
あああー！

プチュー

ズッ♡

ズッ♡

ズッ♡

あつ！
ちよっと痛い……！



はっ、入ったぞ!

どっ...

俺たち約束して たもんな?

あつ!
だ、ダメ.....

ああ!

なのに...なんで?

約束を破ろうと するんだ?

ああ!
もう、やめて.....

挿入してもいいって 約束だったもんな

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ



あゝ!

もう……
もう……
終わりたいですよ!

グググ

グググ

パッパッ

あゝ!

痛い!



!?

なに?



あ……

終わった?



なんで……

なんで優君私に
ここまでするの



ふふふ……

ラッキーなこと
君は俺と出会った

ズ
チュ

ああ!

パン

苦しませる
どころか

パン

ああ……

ああ……

やあー!!

ま、また
入ってきた!

パン

パン

パン

はん

ふんっ…垂矢のような
未熟な女の子を目の前にして

あいつは
どんなに慌てたことだろう

パン

はん

絶対に…

いい思いさせて
やるからな……

パン

パン





なんでこんなに
びちよびちよに……

えっ、どうして……

私……
どうしちゃったんだろ



……

まさか
潮吹いた？

こんなに敏感だとは
思わなかったな……



ふふっ……

こうなりや

俺の興味も
さらに湧いてきた

おもしろく
なってきた……

あっ！ちよ、
ちよっと待って

まだ終わって
ないの？

こうなったら
もう思いつきり
やっちゃおう！

スト
スト

あっ……
また
変な姿勢に……

わあ！

びん

すぐに、奥まで
突き刺してきた！

びん

ああ！

でも……
私なんてこんなに
感じちゃうの……

ああ！！

ずっとこの感覚に
浸っていたい

びん
びん
びん
びん

はちゅ

セックスって
こんなにするらしいものなの？

しかも優君のこと
もっと好きになっちゃう！

ああ

わや

ああ

やあ

ああ

こんな気持ちに
なれるなら

私毎日
優君とセックスしたい

らんらん

らんらん

ふふっ…

癖になって
やめられなくなったらどう？

ああ

らんらん

そうだろ？

そうあるべき
なんだよ！

毎日優君から

私の膣の奥まで
突き刺して欲しい





ゆ、優君!!

はっ

も、もっと力入れて!

あっ
あっ

もう少し奥に!
うんっ…

びゅん
びゅん

びゅん
びゅん

びゅん
びゅん

優君

優君もつと奥に

あぁっ

あぁっ

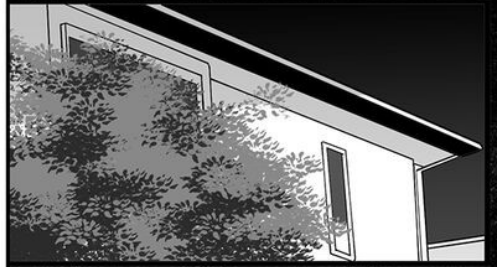
あぁあぁあぁ

ふふっ
気持ちよくなりやがって

今日からしつかり
俺の女になれよ!

きつ、本当に気持ちいい
優君のこと大好き!

優俺に感謝してるだろうな



ごめん
亜矢

君と会えない……

試合前まで



もうすぐお前に

完璧な彼女を

プレゼントしてやる！

